

各 位

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社
 代表者 代表取締役社長 飯塚哲哉
 (コード番号 6769)
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 高田康裕
 (TEL 03-5217-6660)

平成24年12月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月7日に公表した第2四半期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,437	△217	△214	△218	△1,802.17
今回修正予想(B)	1,729	△65	14	63	525.92
増減額(B-A)	292	152	229	282	
増減率(%)	20.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	1,771	△410	△334	△225	△1,852.56

平成24年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,437	△230	△227	△228	△1,886.92
今回修正予想(B)	1,729	△84	△4	47	389.79
増減額(B-A)	292	145	223	275	
増減率(%)	20.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	1,771	△425	△349	△237	△1,951.05

修正の理由

当社は2013年を目標年次とする中期経営戦略「TACK2Win.」に取り組んでおり、民生機器以外の新市場への展開を強力に進めることにより、ポートフォリオ型の事業戦略に転換することを目標としております。

当期の当社事業におきましては、事業ポートフォリオ上の重要性を増している事務機器およびアミューズメントなど新市場における予測の難しさに加えて、民生機器市場の事業環境の厳しさが継続すると見込まれることから、高い不透明感が継続すると予想されます。

こうした中で、第2四半期連結累計期間におきましては、マルチ・ファンクション・プリンタ(MFP)などの事務機器市場向けに、当社独自技術V-by-One(R)HSを搭載した製品などの情報伝送用LSI製品の出荷が計画を上回る見込みとなり、また、民生機器市場においても中国市場向け事業展開を図る一部顧客向け製品が前倒して出荷される見込みとなったことから、売上高および売上総利益が計画を上回る見込みとなりました。他方、同期間における研究開発費を含む販売管理費につきましては、概ね計画通りとなる見込みです。これらの結果、第2四半期連結累計期間における営業損失が縮小し、経常利益および四半期純利益が増加する見込みとなりました。

なお、通期業績につきましては従前の業績予想からの変更はありません。また、4月末時点で弊社が保有するドル建て資産は約22百万ドルであり、今後の為替レートの変動により影響を受ける可能性があります。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

以 上